

第7期 練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

施策③ 在宅で暮らし続けられる
地域に密着したサービスの充実

参考資料

平成29年7月14日

第4期練馬区第11回地域包括支援センター運営協議会

第4期練馬区第11回地域密着型サービス運営委員会

地域密着型サービスの利用状況（平成28年12月1日～31日 圏域・要介護度別）

〈区全体〉

（人）

サービス種別	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均要介護度	施設数	稼働率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	27	29	22	26	28	132	2.99	7	88.6%
夜間対応型訪問介護	0	0	48	92	64	45	50	299	2.86	2	100.0%
地域密着型通所介護（延人数）	0	0	1,086	1,259	629	264	116	3,354	2.12	133	50.9%
認知症対応型通所介護（延人数）	0	0	35	46	79	57	62	279	3.23	17	50.1%
小規模多機能型居宅介護	0	0	40	69	72	44	32	257	2.84	16	57.2%
介護予防小規模多機能型居宅介護	10	4	0	0	0	0	0	14	0.48		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	1	2	0	1	4	3.25		
認知症対応型共同生活介護	0	0	60	127	167	98	78	530	3.01	33	89.7%
合計	10	4	1,296	1,623	1,035	534	367	4,869	2.39	209	—

※平均要介護度＝要支援1、2および要介護1～5利用者の介護度の合計／要支援1、2および要介護1～5利用者数計

※「要支援1、2」については、利用者数に0.375を乗じて平均要介護度を算出している。

（H26.7.23社保審「平成27年度の介護報酬改定に向けて」を参照）

地域密着型サービスの利用状況（平成28年12月1日～31日 圏域・要介護度別）

〈練馬〉

(人)

サービス種別	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均要介護度	施設数	稼働率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	8	7	8	5	10	38	3.05	2	—
夜間対応型訪問介護	0	0	18	24	17	10	14	83	2.73	1	—
地域密着型通所介護（延人数）	0	0	236	254	119	59	16	684	2.07	21	59.2%
認知症対応型通所介護（延人数）	0	0	13	16	24	19	13	85	3.04	5	50.0%
小規模多機能型居宅介護	0	0	11	13	14	4	5	47	2.55	3	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	3	0	0	0	0	0	0	3	0.38		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		
認知症対応型共同生活介護	0	0	8	31	28	26	22	115	3.20	7	87.9%
合計	3	0	294	345	210	123	80	1,055	2.38	39	—

〈光が丘〉

サービス種別	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均要介護度	施設数	稼働率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	9	14	2	8	6	39	2.69	1	—
夜間対応型訪問介護	0	0	7	20	11	14	8	60	2.93	0	—
地域密着型通所介護（延人数）	0	0	228	307	160	58	27	780	2.17	28	43.5%
認知症対応型通所介護（延人数）	0	0	8	15	23	13	11	70	3.06	5	41.1%
小規模多機能型居宅介護	0	0	12	17	18	17	11	75	2.97	5	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	5	0	0	0	0	0	0	5	0.38		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	1	0	0	0	1	2.00		
認知症対応型共同生活介護	0	0	18	32	37	20	18	125	2.90	7	85.9%
合計	5	0	282	406	251	130	81	1,155	2.40	46	—

※平均要介護度＝要支援1、2および要介護1～5利用者の介護度の合計／要支援1、2および要介護1～5利用者数計
 ※「要支援1、2」については、利用者数に0.375を乗じて平均要介護度を算出している。

地域密着型サービスの利用状況（平成28年12月1日～31日 圏域・要介護度別）

〈石神井〉

（人）

サービス種別	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均要介護度	施設数	稼働率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	7	5	4	4	9	29	3.10	2	—
夜間対応型訪問介護	0	0	9	31	32	19	24	115	3.16	1	—
地域密着型通所介護（延人数）	0	0	465	482	240	97	49	1,333	2.09	56	55.1%
認知症対応型通所介護（延人数）	0	0	3	4	12	14	24	57	3.91	3	35.6%
小規模多機能型居宅介護	0	0	15	21	20	11	14	81	2.85	5	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	3	0	0	0	0	0	5	0.60		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	1	0	0	1	3.00	0	
認知症対応型共同生活介護	0	0	17	35	48	29	21	150	3.01	9	96.4%
合計	2	3	516	578	357	174	141	1,771	2.34	76	—

〈大泉〉

サービス種別	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均要介護度	施設数	稼働率
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	3	3	8	9	3	26	3.23	2	—
夜間対応型訪問介護	0	0	14	19	11	5	7	56	2.50	0	—
地域密着型通所介護（延人数）	0	0	177	246	123	55	27	628	2.22	28	42.1%
認知症対応型通所介護（延人数）	0	0	11	11	20	12	17	71	3.18	4	71.1%
小規模多機能型居宅介護	0	0	2	18	22	12	4	58	2.97	3	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	0	1	0	0	0	0	0	1	0.75		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	1	0	1	2	4.00	1	
認知症対応型共同生活介護	0	0	17	29	54	23	19	142	2.99	10	88.3%
合計	0	1	224	326	239	116	78	984	2.49	48	—

※平均要介護度＝要支援1、2および要介護1～5利用者の介護度の合計／要支援1、2および要介護1～5利用者数計

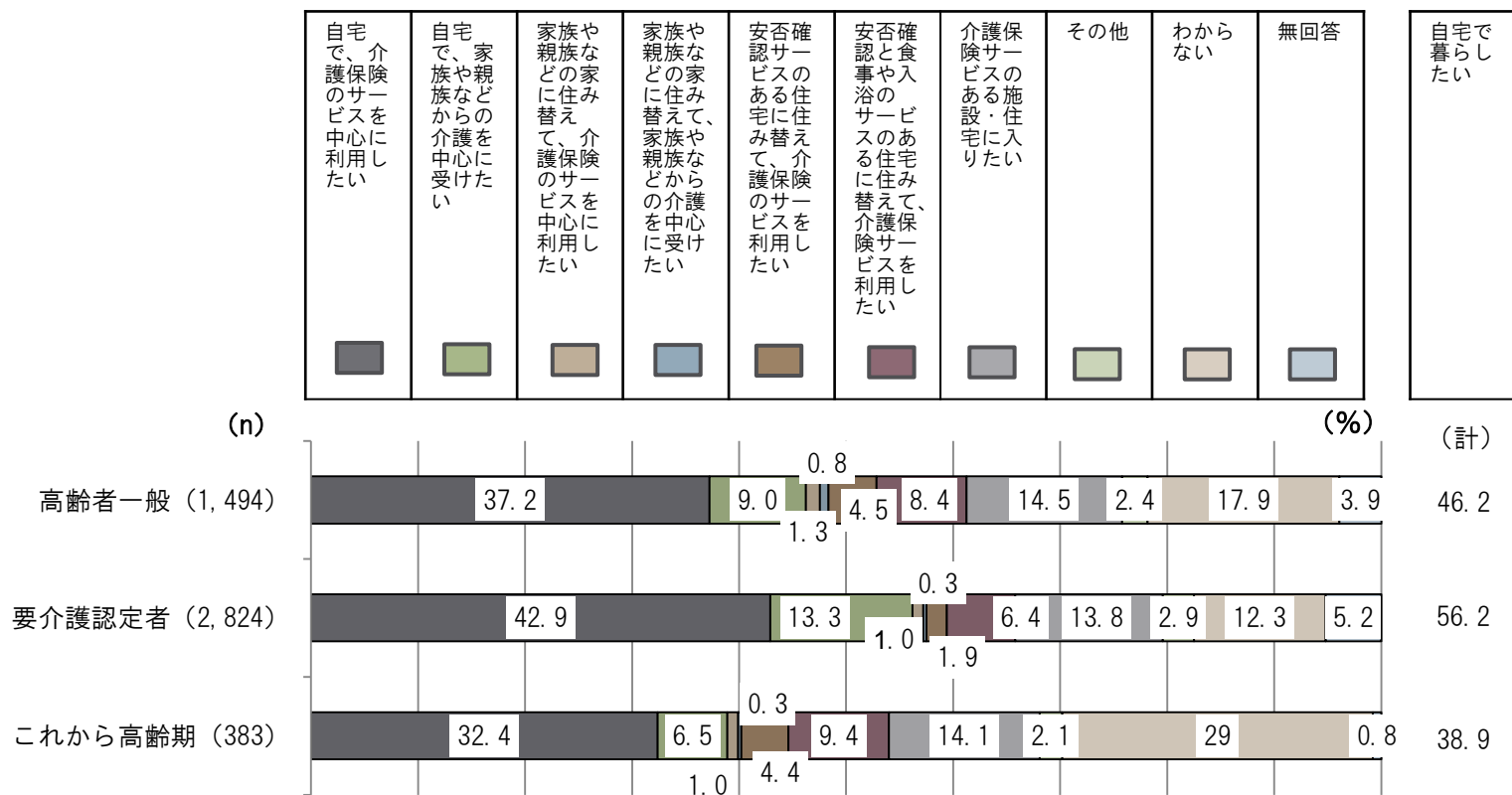
※「要支援1、2」については、利用者数に0.375を乗じて平均要介護度を算出している。

参考データ

介護が必要になった場合に希望する暮らし方

○いずれの調査においても、「自宅で、介護保険のサービス中心に利用したい」が最も高く、3割超～4割超となっており、在宅へ意向が強い。

○「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」と「自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けてたい」を合わせると、高齢者一般で約5割、要介護認定者で約6割を占める。

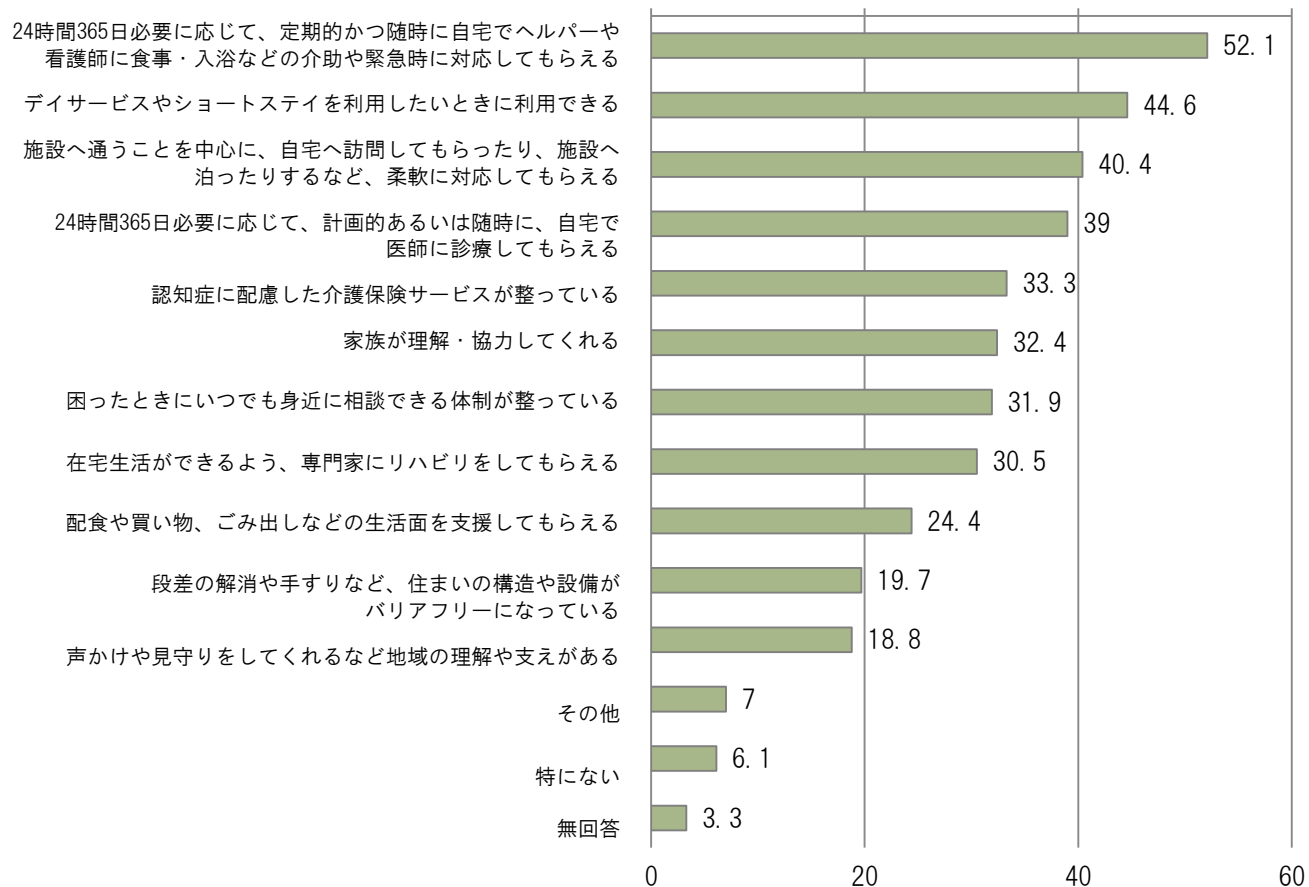


出典：練馬区高齢者基礎調査

参考データ

「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」が最も高く52.1%、次いで、「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(44.6%)、「施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊ったりするなど、柔軟に対応してもらえる」(40.4%)と続いている。

在宅生活を継続できる在宅サービス



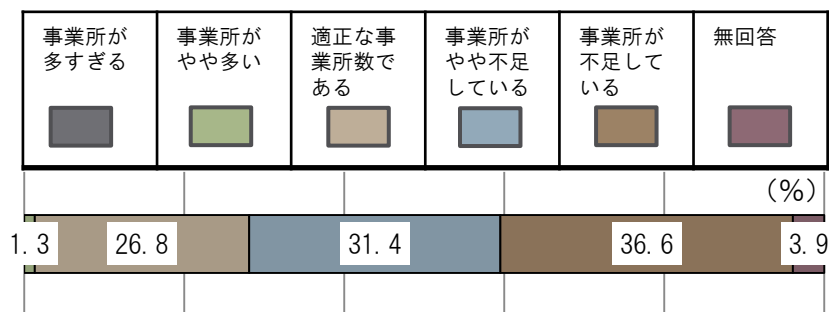
出典：練馬区高齢者基礎調査

参考データ

居宅介護支援事業所の考え

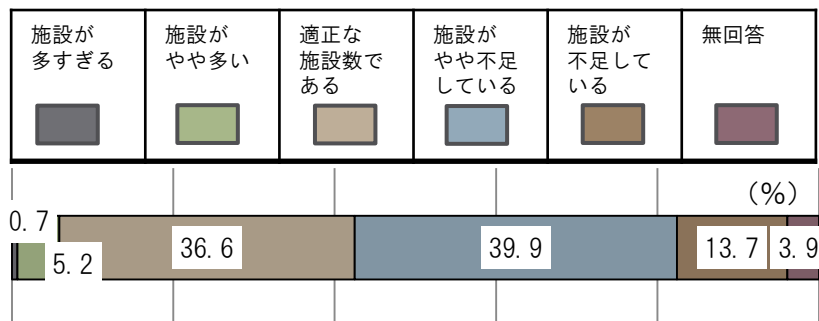
定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス

- “不足” “やや不足” が68.0%と、“多すぎる” “やや多い” を大きく上回っている。
- 「適正な事業所数である」は26.8%となっている。



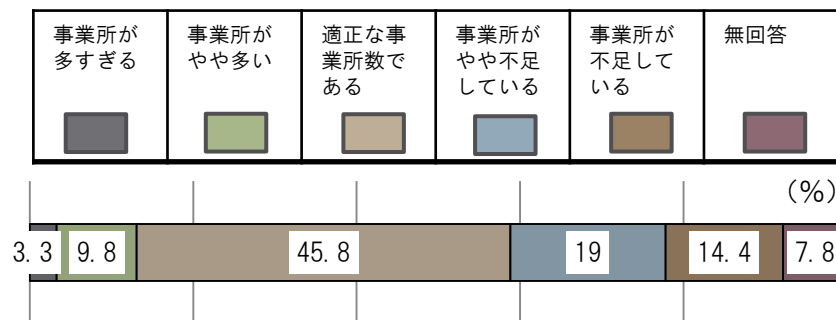
認知症対応型共同生活介護の需給バランス

- “不足” “やや不足” が53.6%と、“多すぎる” “やや多い” を大きく上回っている。
- 「適正な施設数である」は36.6%となっている。



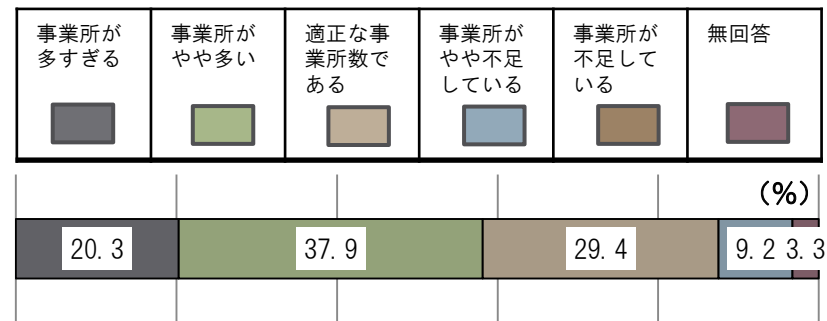
小規模多機能型居宅介護の需給バランス

- 「適正な事業所数である」が最も高く45.8%となっている。
- “不足”（「事業所が不足している」と「事業所がやや不足している」の合計）が3割超で、“過多”（「事業所が多すぎる」と「事業所がやや多い」）の1割超を上回っている。



通所介護の需給バランス

- “過多” が58.2%と、“不足” を大きく上回っている。
- 「適正な事業所数である」は、29.4%となっている。



出典：練馬区高齢者基礎調査

参考データ

定期巡回・随時訪問型訪問介護看護の課題

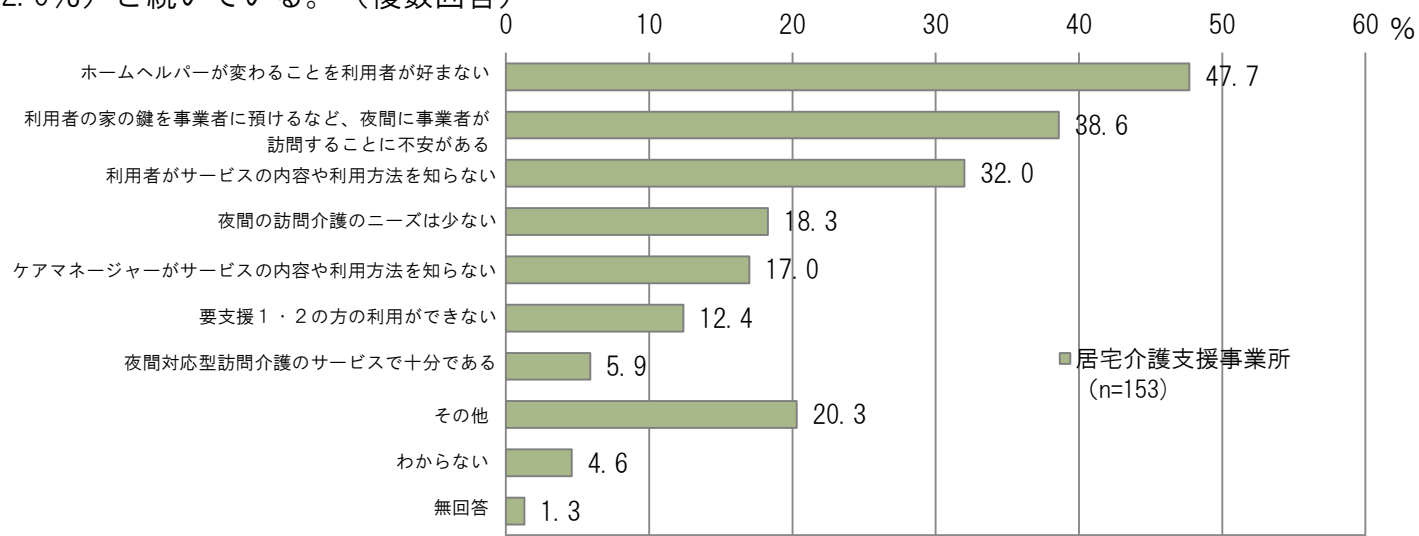
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者の課題認識

- 地域密着型サービスの課題は、「ケアマネが内容や利用法を知らない」が41.7%となっている。

	ケアマネが内容や利用方法を知らない	利用者が限定される	事業所数が多い	事業者数が少ない	報酬・加算が少ない	わからない	その他	計(所)
全体	5	1	0	3	2	0	1	12
	41.7%	8.3%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	

居宅介護支援事業所の課題認識

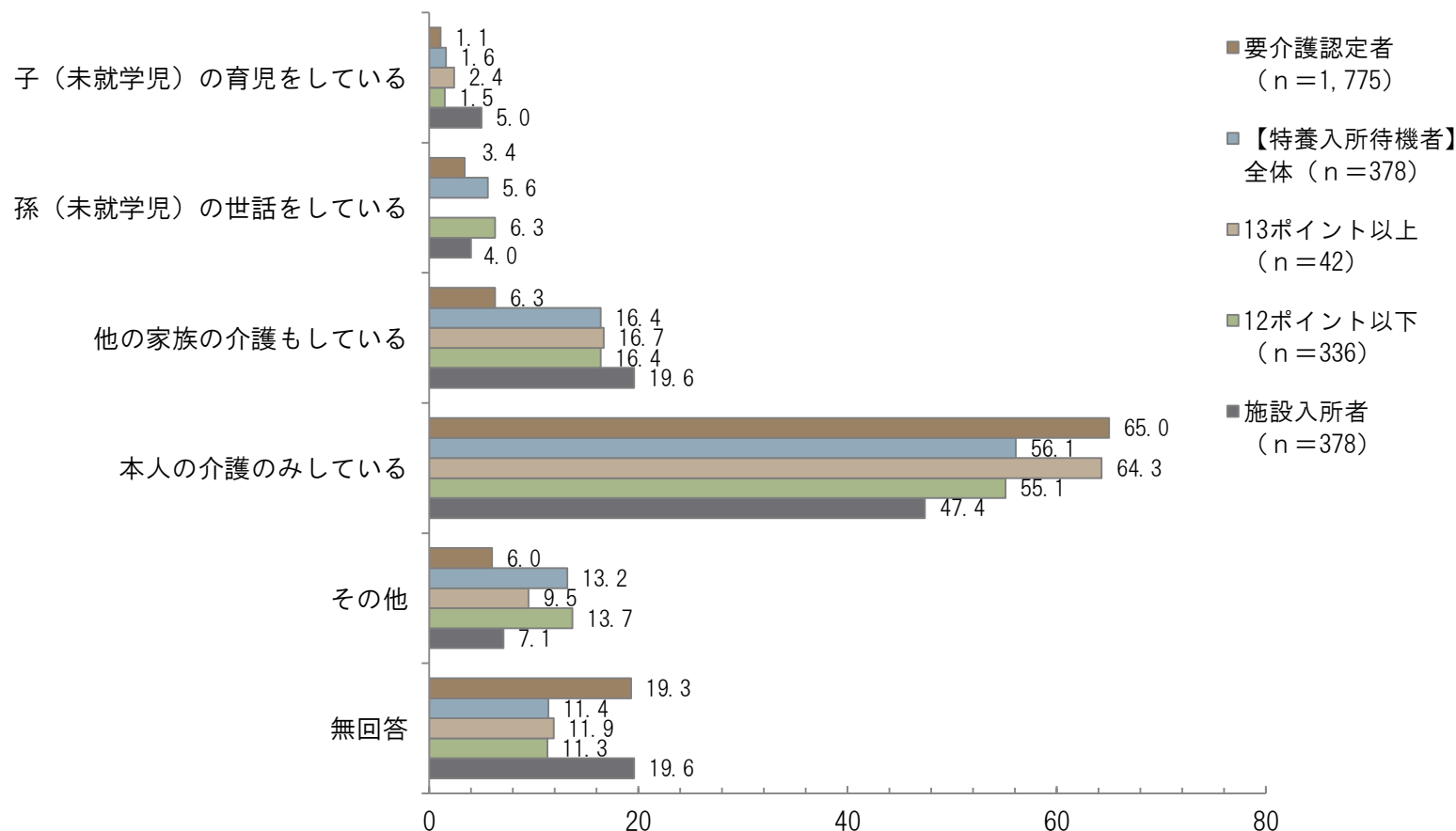
- ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない」が最も高く47.7%、次いで「利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある」(38.6%)、「利用者がサービスの内容や利用方法を知らない」(32.0%)と続いている。(複数回答)



参考データ

介護以外の負担の状況

- 主な家族介護者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査においても、「本人の介護のみしている」が最も高い。
- 「他の家族の介護もしている」は、特養入所待機者で1割半ば、施設入所者で約2割であった。



※ 施設入所者は、施設入所前の介護以外の負担の状況について聞いた

出典：練馬区高齢者基礎調査

区政改革計画

取組7 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくります

高齢化が急速に進むなかで、介護が必要となる高齢者も増えています。高齢になっても誰もが安心して地域で暮らすためには、元気なうちから介護予防に取り組むことが重要です。それを区民一人ひとりが理解し実践することが課題です。介護保険サービスの持続可能性を確保するという効果も期待できます。

高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、「地域包括ケアシステム」を確立し、介護サービスをはじめ、地域での生活を支援するサービスを総合的、一体的に提供する必要があります。

区内では、様々な団体やボランティアが高齢者を支える活動を展開しており、人材も豊富です。こうした地域活動を担っている方々と一緒になって、高齢者を支えていきます。

(2) 介護サービスを充実します

介護サービスと、医療・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの確立を目指します。

取組9 安心して医療が受けられるように地域医療を充実します

② 在宅療養ネットワークを構築し、地域包括ケアシステムを確立します

平成29年4月、大泉学園町に新たな病院が開院します。新病院は、回復期リハビリテーション病院として急性期を脱した患者の受け皿となります。また在宅に戻るまでの医療を提供する施設としての役割も担い、地域の診療所や介護事業者などと在宅療養ネットワークを構築します。これを中心に、地域の皆さんとも連携して、介護予防・住まい・生活支援を含めた地域包括ケアシステムを確立します。この成果を他の地域にも広げていきます。

第6期(平成27年度～29年度)の整備目標

サービス種別		26年度末 現況	計画目標 値	3か年実績			3か年合 計
				27年度	28年度	29年度※ (見込み)	
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	事業所数	7	2	0	0	2	2
夜間対応型訪問介護	事業所数	2	0	—	—	—	—
地域密着型通所介護 (平成28年4月から)	事業所数	0	小規模通所介護からの円滑な移行				—
認知症対応型通所介護	事業所数	16	0	—	—	—	—
小規模多機能型居宅介護	事業所数	16	0	—	—	—	—
看護小規模多機能型居宅介 護	事業所数	0	4	0	1	3	4
	定員	0	116	0	29	87	116
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	事業所数	32	4	0	1	3	4
	定員	545	72	0	18	54	72

※ 出典：第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画およびアクションプラン

※ 平成29年度は、計画目標値と実績値の差分を見込値として計上

平成29年4月1日現在の圏域別整備状況

サービス種別		練馬	光が丘	石神井	大泉	合計
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	事業所数	2	1	2	2	7
夜間対応型訪問介護	事業所数	1	0	1	0	2
地域密着型通所介護	事業所数	19	28	55	27	129
	定員	224	304	627	289	1,444
認知症対応型通所介護	事業所数	5	5	3	4	17
	定員	70	54	32	46	202
小規模多機能型居宅介護	事業所数	3	4	5	4	16
	定員	79	108	133	112	432
看護小規模多機能型居宅介護	事業所数	0	0	0	1	1
	定員	—	—	—	29	29
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	事業所数	7	7	9	10	33
	定員	116	135	141	171	563

第6期(平成27年度～29年度)計画期間中の公募数

サービス種別		練馬	光が丘	石神井	大泉	区内計
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	事業所数	－	1	－	－	2
		1				
看護小規模多機能型居 宅介護	事業所数	1	1	1	選定済 (1)	3
	定員	29	29	29	(29)	87
認知症対応型共同生活 介護 (グループホーム)	事業所数	1	1	1	選定済 (1)	3
	定員	18	18	18	(18)	54

現在の主な取組

事業名	事業概要	平成28年度実績
1 地域密着型サービス拠点の整備		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間定期巡回・随時対応サービス）	日常生活圏域間のバランスを考慮しつつ整備を進める。 更なる普及啓発に取り組み、利用率の向上を図る。	7事業所
夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を踏まえ、新たな整備を行わない。	2事業所
地域密着型通所介護	日常生活圏域間のバランスを考慮しつつ整備について検討する。	128事業所
認知症対応型通所介護（認知デイ）	新たな整備は行わず、更なる普及啓発に取り組み、利用率の向上に努める。	17事業所
小規模多機能型居宅介護	新たな整備は行わず、更なる普及啓発に取り組み、利用率の向上に努める。	16事業所 （定員 432名）
看護小規模多機能型居宅介護	日常生活圏域間のバランスを考慮しつつ整備を進める。	1事業所 （定員 29名）
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	看護小規模多機能型居宅介護との併設を基本として整備を進める。	33事業所 （定員 563名）
地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）	整備目標数を定めないこととし、社会福祉法人から広域型の特別養護老人ホームとの併設またはサテライト事業所として整備の協議があった場合に、設置の可否について検討する。	—

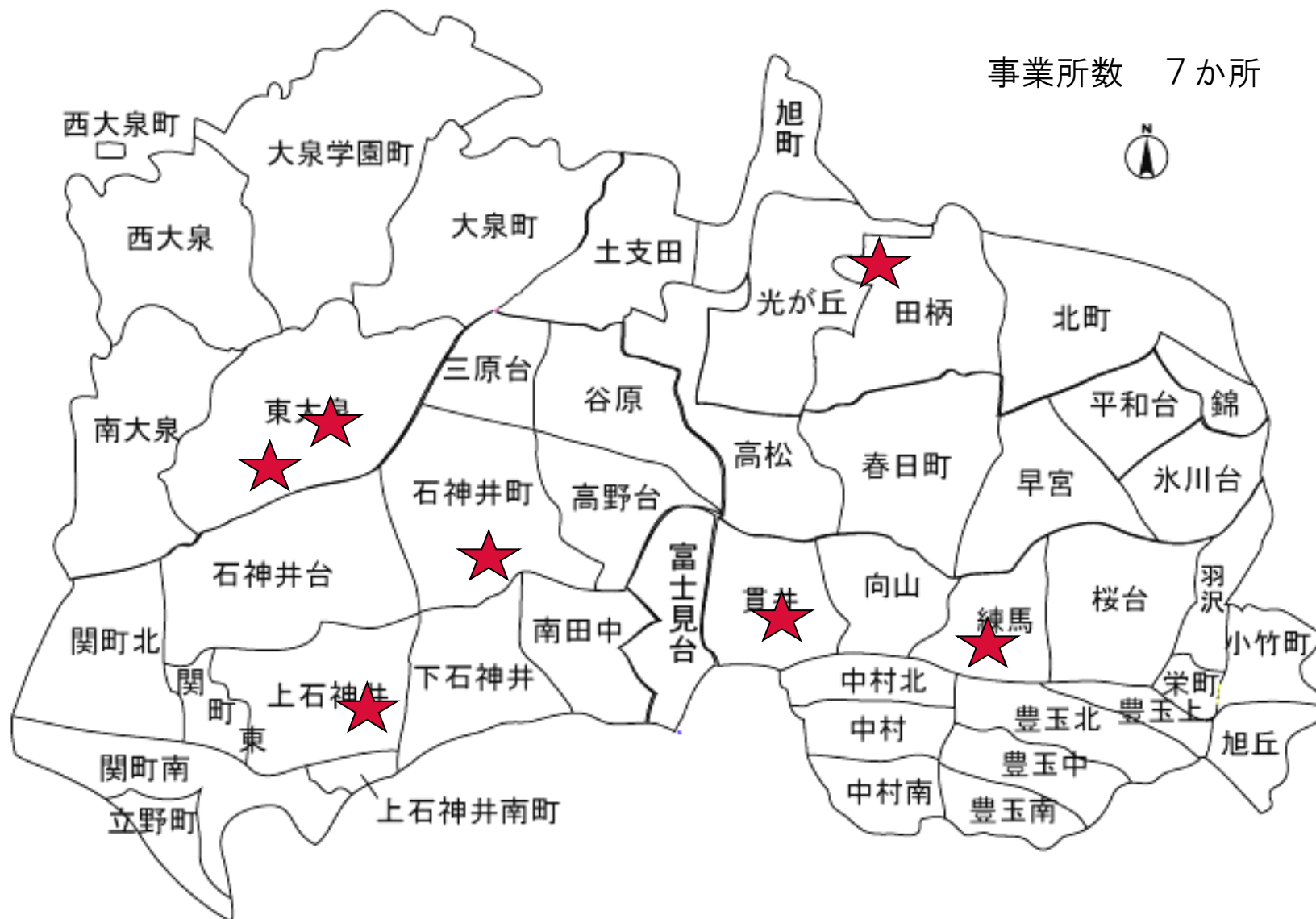
現在の主な取組

事業名	事業概要	平成28年度実績
2 高齢者・家族を支える情報発信の充実		
地域密着型サービスの周知	住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域密着型サービスについて、区民および事業者に周知を図る。	区報掲載（平成28年8月21日号） 各地域包括支援センターにチラシを配布（平成29年1月）

平成29年4月1日現在の整備状況

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

事業所数 7か所



平成29年4月1日現在の整備状況

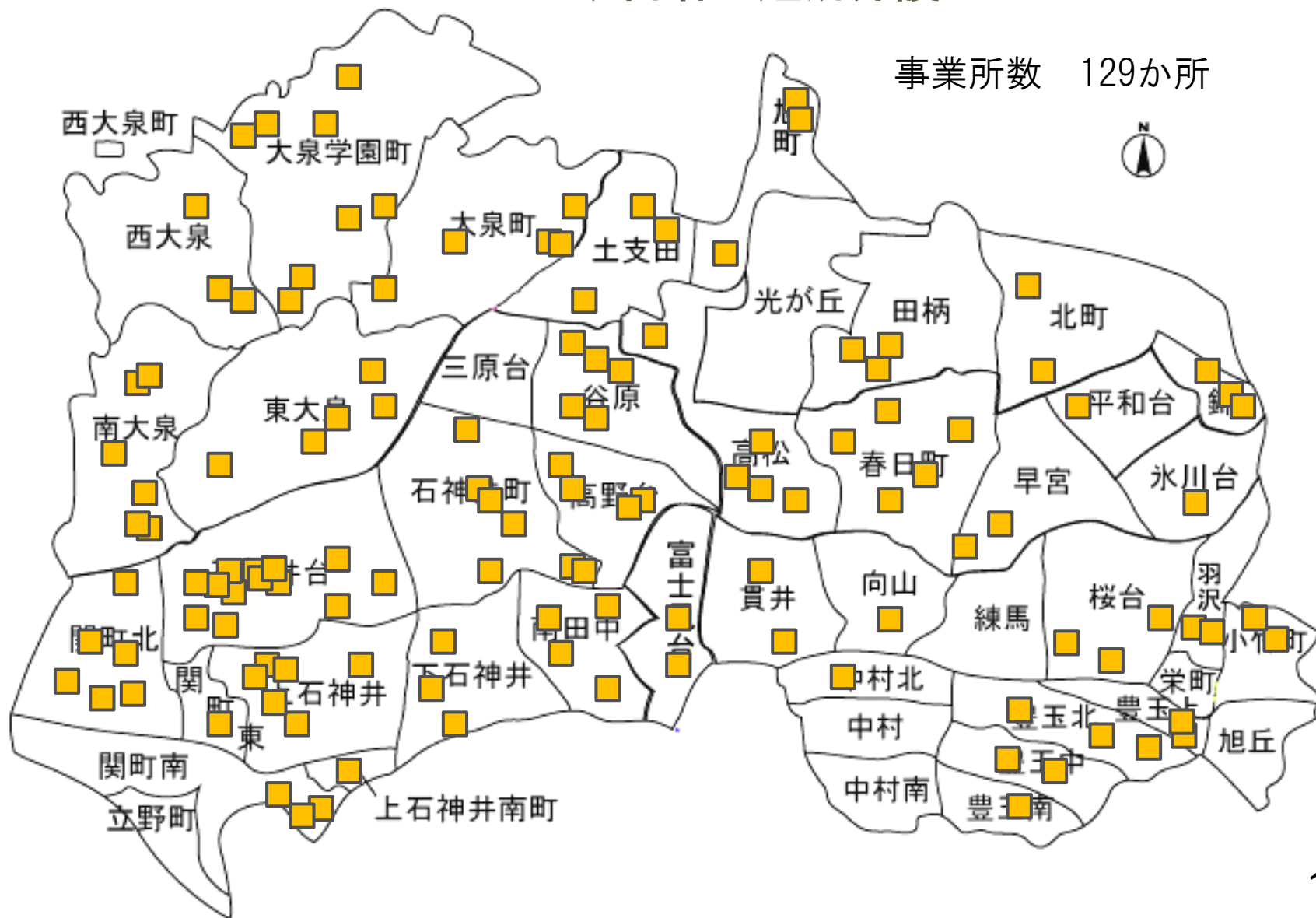
夜間対応型訪問介護



平成29年4月1日現在の整備状況

地域密着型通所介護

事業所数 129か所



平成29年4月1日現在の整備状況

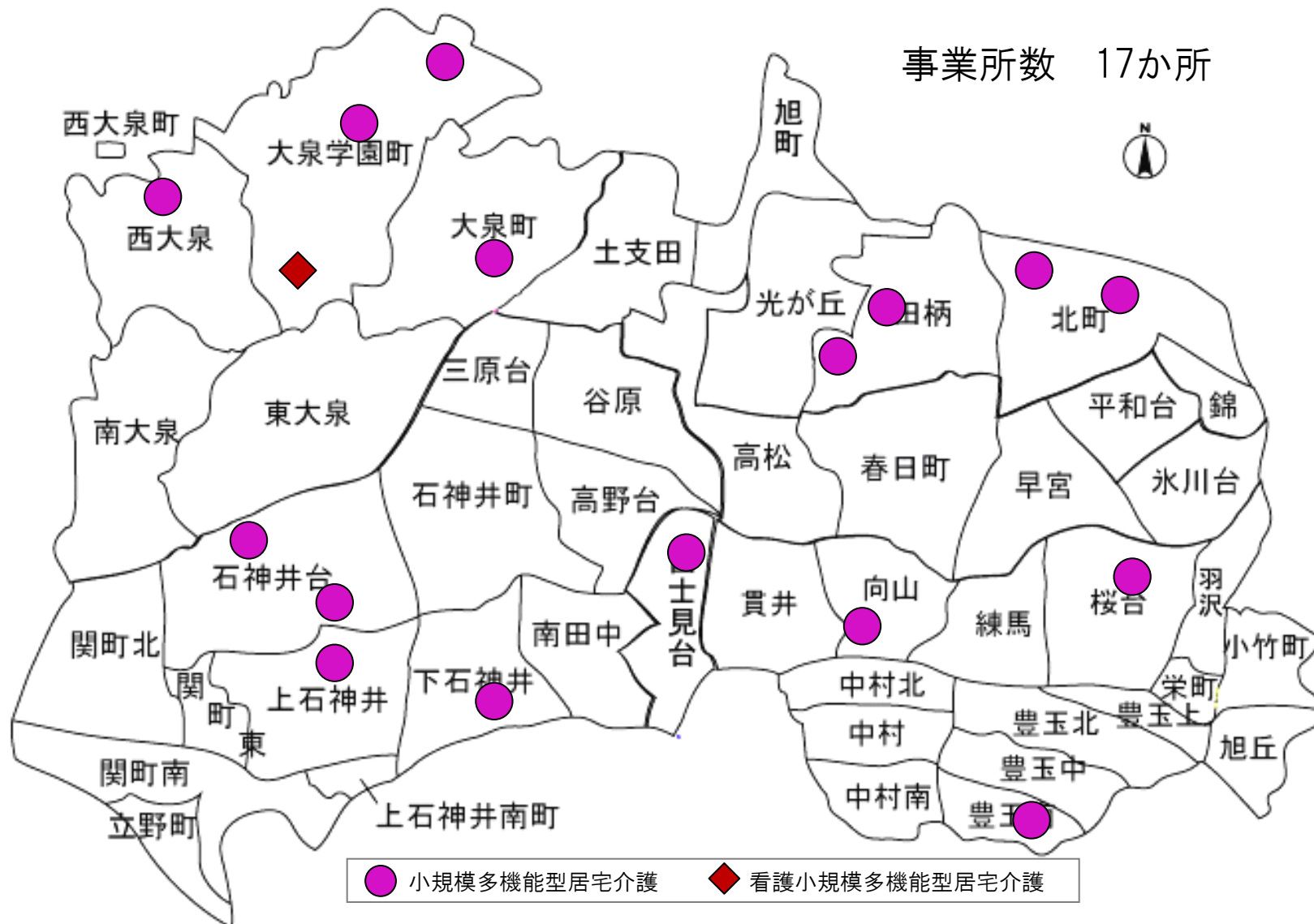
認知症対応型通所介護

事業所数 17か所



平成29年4月1日現在の整備状況

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護



平成29年4月1日現在の整備状況

認知症対応型共同生活介護

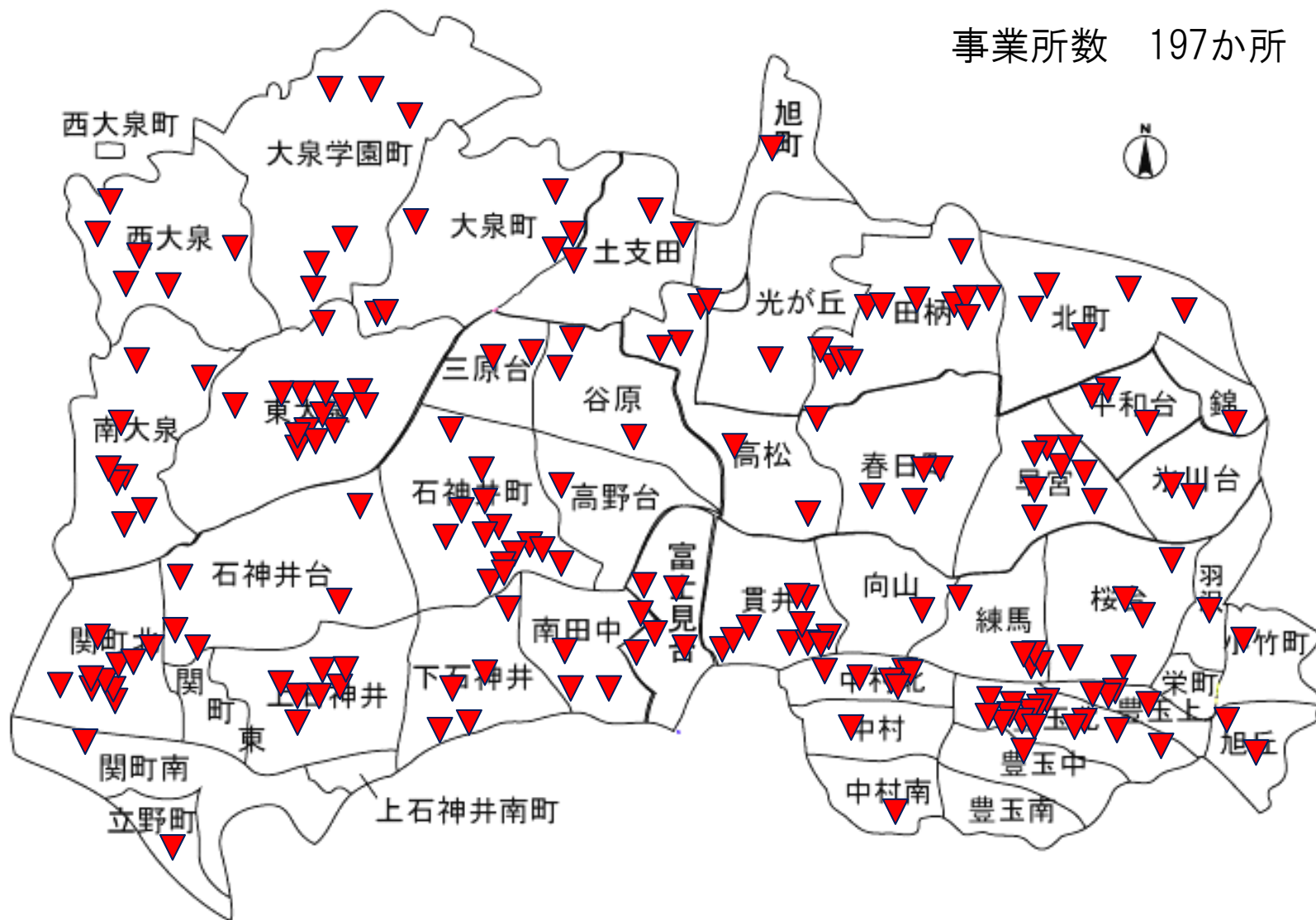
事業所数 33か所



平成29年4月1日現在の整備状況（参考）

訪問介護（居宅サービス・介護予防サービス）

事業所数 197か所



平成29年4月1日現在の整備状況（参考）

訪問看護（居宅サービス・介護予防サービス）

事業所数 52か所



参考

高齢者生活支援事業

事業名	事業概要	平成27年度実績 (※は28年度実績)
介護保険の要支援・要介護認定を受けた方が対象のサービス		
自立支援住宅改修給付 (設備改修給付)	区内在住の65歳以上の在宅の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けた方のうち、身体機能の低下や障害のため、既存設備での利用に困難があり、住宅改修が必要と認められる方に給付する。 (平成29年4月1日から、玄関スペースの拡張を助成対象に追加。)	※ 利用件数 330件 (内訳) ・浴槽の取替え 215件 ・流し、洗面台の取替え 26件 ・便器の洋式化 77件 ・昇降機等の設置 2件
出張調髪	65歳以上の外出困難な高齢者で介護保険の要介護3～5と認定された方を対象に区内の理美容組合の協力を得て、理容師または美容師に出張調髪を依頼し、高齢者の居宅および区内の入院先において調髪を行うもので、年5回まで利用できる調髪券を支給している。	利用者数(延) 5,185人
布団乾燥等	区内に居住する在宅の65歳以上の高齢者の方で、介護保険の要介護1以上と認定され、かつひとりぐらしまたは65歳以上のみの世帯の方を対象に年12回実施している。	乾燥消毒 6,052件 薬品消毒 643件 水洗い 617件
寝具クリーニング	65歳以上の在宅の高齢者で介護保険の要介護3～5と認定された方を対象に、区内のクリーニング組合の協力を得て、組合加盟店で利用できる寝具クリーニング利用券を年24枚交付している。	5,008件
リフト付福祉タクシー	介護保険の要介護3以上と認定された方で、外出時、車いす等を使用している方 利用者は、区が契約している事業者へ直接予約をして利用する。1回の運行につき、区は事業者へ予約料・迎車料を支払い、利用者は運賃と事業者が定めた加算料金を利用時に支払う。	運行回数 9,591回

参考

高齢者生活支援事業

事業名	事業概要	平成27年度実績
介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方が対象のサービス		
車いす・介護用ベッドの貸与	区内在住の方で、年齢を問わず一時的なけがや疾病により居宅で介護用具の使用が必要な方に、車いすおよび介護用ベッドを6ヶ月を限度に貸与する(介護保険で、要支援・要介護と認定された方、身体障害者手帳所持者で同種の用具を支給されている方等は除く)。	車いす 414件(延べ) 介護用ベッド 260件(延べ)
自立支援住宅改修給付(予防改修給付)	区内在住の65歳以上の在宅の高齢者で介護保険の要支援・要介護の対象にならない方のうち、身体状況などに関する一定の要件を満たす方で、住宅改修が必要と認められる方に給付する。	71件 (手すり取付、段差の解消、洋式便器等への取替、滑り防止・円滑な移動のための床・通路面材の変更、引き戸等への扉の取替、その他付帯して必要な工事。)
高齢者福祉電話	65歳以上のひとりぐらし高齢者および高齢者のみ世帯で、定期的に安否確認の必要がある方を対象に週1回電話をかけ、安否の確認と孤独感の緩和等を図る。	対象人数 122人
高齢者見守り訪問事業	65歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、地域のボランティアである見守り訪問員が、週1回程度訪問し、安否の確認を行う。 見守り訪問員と利用者のコーディネート等は在宅介護支援センターへ業務委託。	訪問利用者数 407人 見守り訪問員数 218人

参考

高齢者生活支援事業

事業名	事業概要	平成27年度実績
介護保険の認定に関わらず必要に応じて受けることができるサービス		
自立支援用具給付	区内在住の65歳以上の在宅の方で、日常生活動作に何らかの困難があり、用具の給付が必要と認められる方に給付する(ただし一部については、介護保険の要支援・要介護認定者は対象外)。	合計 1,583件 (内訳) 安全つえ 824件 シルバーカー 572件 入浴補助用具 126件 等
高齢者食事サービス(会食)	65歳以上のひとりぐらし高齢者等で心身の状況その他の理由により定期的な食事の確保が困難で、サービスを受けることが必要であると認められる方に、デイサービスセンターにて会食形式で昼食を提供する。	延提供食数 3,046食
「食」のほっとサロン (29年度から介護予防・生活支援サービス事業)	区立施設、店舗、民家等において、月2回～週1回程度、会食を中心に口腔ケアや趣味活動等「食」に関する総合的なサービスを提供することにより、高齢者の閉じこもりを防止し、共食の場づくりや介護予防を図る。	実施会場数 16か所 延利用者数 4,797人
緊急通報システム	5歳以上のひとりぐらし高齢者および高齢者のみ世帯等(日中または夜間独居の方を含む)で、慢性疾患のため常時注意を要する方や老衰、事故もしくは疾患の後遺症等により緊急事態における自助活動に大きな不安がある方を対象に機器を貸与する。利用者がペンダント型発信機を押すと民間受信センターが受信し、派遣員の出動や消防庁への通報で、速やかな救助活動を行う。	設置件数 578件
居宅火災予防設備設置	火災予防設備を給付し、家庭内での火災の迅速な通報と消火活動を行い、高齢者の生命安全を守ることを目的とする。	火災警報器 7式 自動消火器 12本

出典：【平成28年度】ねりまの福祉

参考

高齢者生活支援事業

事業名	事業概要	平成27年度実績
緊急一時宿泊事業	<p>練馬区に住所を有し、次の(ア)または(イ)に該当する方</p> <p>(ア) 緊急ショートステイ利用 介護保険の要支援・要介護 認定を受けた方(第2号被保険者含む)、または健康長寿チェックシートで総合事業の対象者と判定された方で、つぎの①、②いずれにも該当する方</p> <p>① 介護する家族の急病、けが、親族等の葬儀への参加等のため家族からの介護を受けられない。または介護する家族による虐待が行われている</p> <p>② 介護保険による短期入所生活介護(ショートステイ)の空きがない</p> <p>(イ) 緊急保護利用 生活上の諸問題を抱え、援助または緊急の保護を必要とするおおむね65 歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定を受けた方は除く)</p>	<p>旧緊急ショートステイ利用 利用者数10 人 利用日数64 日 旧緊急保護利用 被保護者数21 人 滞在延べ日数258 日</p>
福祉用具貸与	<p>在宅介護支援センターにおいて、福祉用具を展示し希望者へ一週間程度の試用貸与を行うことにより、福祉用具の導入に際してより本人の身体状況等にあつた用具の選択に寄与する。在宅介護支援センターへ業務委託。</p> <p>展示貸与物品：基本の4品目(車椅子・シルバーカー・シャワーチェア・浴槽内いす)および在宅介護支援センターの判断により追加した品目。</p>	<p>貸与実績 1,690件</p>
高齢者お困りごと支援事業	<p>75 歳以上のひとりぐらしの方、75 歳以上のみで構成される世帯の方に日常生活上のちょっとしたお困りごと(電球等の交換、生活用品の買い物等)で、平日の日中1 時間以内で行うことができる軽易な作業をシルバーサポーター(練馬区シルバー人材センター会員)が支援する。</p>	<p>利用件数(延) 355件</p>

参考

介護予防・日常生活支援総合事業

事業名	事業概要	平成27年度実績 ※は平成28年度実績
介護予防・生活支援サービス事業 (対象者：①要支援1・2の認定を受けた方、②健康長寿チェックシートにより介護予防・生活支援サービス事業対象者になった方)		
訪問サービス	ホームヘルパー等が訪問し、調理、掃除、洗濯、生活必需品の買物等を利用者とともにいき、利用者自身ができることが増えるよう支援する。	※利用人数 27,076人
シルバーサポート事業	75歳以上のひとり暮らしの方、75歳以上のみで構成される世帯の方に日常生活上のちょっとしたお困りごと（電球等の交換、生活用品の買い物等）で、平日の日中1時間以内で行うことができる軽易な作業をシルバーサポーター（練馬区シルバー人材センター会員）が支援する。	※利用件数（延）147件
通所サービス	デイサービスセンターで、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニング、食事・入浴等のサービスを行う。	※利用人数 23,859人
（再掲） 「食」のほっとサロン	区立施設、店舗、民家等において、月2回～週1回程度、会食を中心に口腔ケアや趣味活動等「食」に関する総合的なサービスを提供することにより、高齢者の閉じこもりを防止し、共食の場づくりや介護予防を図る。	※実施会場数 15か所 延利用者数 4,992人
健康長寿若がえり教室	高齢者筋力向上トレーニング等短期間集中して専門職のアドバイスを受ける通所型サービス。（1教室・1クール23回で実施）	※実施数 21教室（延483回） 利用人数 213人（延3,992人）

出典：【平成28年度】ねりまの福祉
すぐわかる介護保険

参考

介護予防・日常生活支援総合事業

事業名	事業概要	平成27年度実績 ※は平成28年度実績
健康長寿はつらつ事業（一般介護予防事業）（対象者：65歳以上の方）		
健康長寿はつらつフェスティバル講演会	健康長寿の取組や若さの秘訣について、講師を招き、講演を行う。	参加者 450人
はつらつシニアクラブ	体力・体組成・骨密度等の測定会を実施し、身体状況へのアドバイスを行う。また、健康長寿に向けた活動の相談に応じ、体操や文化活動を行っている地域団体を紹介する。	※ 28年度新規事業 4会場 参加者 769人
健康長寿はつらつまつり	運動・口腔・認知機能の低下予防、栄養摂取のポイントの講座や展示、体験等ができるイベントを実施する。	高齢者センター3か所で実施 参加者 975人
認知症予防講演会	認知機能の低下予防に効果のある生活習慣について学び、毎日の生活に取り入れる工夫について講演する。	参加者 163人
認知症を予防するためのウォーキング講座（2日制）	認知機能の低下予防に効果的なウォーキングの方法や、日常生活にウォーキングを取り入れるきっかけづくりを行う。	2日制2回実施 参加者170人
認知症予防脳活プログラム	認知機能の維持・改善を目指すために、パソコン（インターネット、フェイスブック）や絵本の読み聞かせを活用したプログラムを行う。プログラム終了後は、自主グループ活動を通じて、認知機能の低下予防に取り組む。	参加者 956人 (内訳)参加者説明会 144人 パソコン 431人 絵本読み聞かせ 307人 修了者交流会 74人
地域リハビリテーション活動支援事業	地域の自主グループに対し、リハビリテーションの専門職を講師として派遣し、介護予防の取組を支援する。	利用者 自主活動支援 21団体 自立生活支援 36人

参考

介護予防・日常生活支援総合事業

事業名		事業概要	平成27年度実績 ※は平成28年度実績
健康長寿はつらつ教室	<ul style="list-style-type: none"> ①足腰しゃっきりトレーニング教室（室内） 12回/1教室×8 ②足腰しゃっきりトレーニング教室（プール） 12回/1教室×8 ③わかわか、かむかむ元気応援教室 6回/1教室×10 ④まる得！若がえり教室 8回/1教室×23 （①、②、④は医師から運動を止められていない方）	※ 参加者 1,095人 （内訳）①足腰（室内） 223人 ②足腰（プール） 325人 ③わかかむ元気 102人 ④まる得 445人	
いきがいデイサービス事業	外出をする機会が少ない方を対象に、昼食の提供（会食）、絵画・書道・手芸等の趣味活動や健康体操などを行います。	※ 参加者 537人	
街かどケアカフェ	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者センター支所を併設する一部の区立施設や、地域団体が運営する集いの場で、高齢者が気軽に集い、お茶を飲みながら、介護予防について学べる「街かどケアカフェ」を運営する。 ②地域集会所等で、茶話会や体操、出張相談会等のイベントを実施する「出張型街かどケアカフェ事業」を開催する。 	※ 1箇所新設 延利用者数 12,029人	
はつらつシニアロコモ体操	要介護状態となる原因の一つであるロコモティブシンドロームを予防するための安全で簡単な運動を学ぶ教室を開催する。保健相談所、民間運動施設、街かどケアカフェ等で実施する。	参加者 1,361人	
お口の健康まつり	生涯健康的なお口で過ごすことを目指して、お口の機能を向上させるための方法を学びます。「ねりまお口すっきり体操」の実演、歯科健診やお口の力を使ったゲーム等、体験を通じて楽しみながらお口の健康づくりについて学ぶ。	参加者 236人	

参考

介護予防・日常生活支援総合事業

事業名		事業概要	平成27年度実績 ※は平成28年度実績
	「ねりまお口すっきり体操」講習会 ～体とお口のストレッチ～	いつまでも健康で食事を会話を楽しむことを目的に、「お口の健康」を大切にするために創作したオリジナルの体操について講習を行う。お口から始める健康長寿のお話と、健康運動指導士による体とお口の健康づくりについて学ぶ。	参加者 123人
	健康長寿講演会	健康長寿を目指すために、知っておきたい体の変化や病気、その対策について詳しく学べる講演会を実施する。専門の講師を招き、高齢期に多い病気や口腔ケア等をテーマに講演する。	参加者 365人

在宅生活支援事業

事業名	事業概要	平成28年度実績
在宅生活支援事業	65歳以上のみの方の世帯等で要介護認定等を受けている住民税非課税世帯の方に、①緊急通報システム、②生活リズムセンサー、③見守り訪問、④福祉電話、⑤配食サービスのうち、必要なサービスを介護保険サービス等と組み合わせて利用できる。	利用者数 338人 (うち平成28年度新規167人) 平成27年度事業新設

出典：【平成28年度】ねりまの福祉
すぐわかる介護保険